

# 一般社団法人 佐賀青年会議所

## 2022年度3月理事会

日 時 2022年 3月 2日 (火)

時 間 19:30～22:00

場 所 W E B (Z o o m)

### 1. 開会の辞

副理事長 西村 誠剛 君

### 2. JCI Creed 唱和

国際・交流委員会 委員長 古賀 智博 君

### 3. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和

会員拡大・研修委員会 委員長 田中 徳晃 君

### 4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和及び佐賀青年会議所活動指針唱和

まちづくり委員会 委員長 蒲原 伸矢 君

### 5. 議事録作成人及び署名人の指名

理事長 島内 陽輔 君

議事録作成人 総務・広報委員会 委員長 古賀 修平 君

署名人 会員拡大・研修委員会 委員長 田中 徳晃 君

まちづくり委員会 委員長 蒲原 伸矢 君

### 6. 前回議事録の承認

### 7. 理事長挨拶

理事長 島内 陽輔 君

みなさんこんばんは。2022年度始まりましてもう3月になりました。先週から起こりましたロシアによるウクライナ侵攻において亡くなられたウクライナの方、そしてロシアの方に対して哀悼の意を表します。日本JCにもアップされていますけれども、JCIというのは、人類の同胞愛が国家の主権を超越するという信念のもと活動されております。ウクライナでもロシアでもJCが存在します。JCとして直接的にできることは無いかもしれません、最悪の場合、世界大戦になるのではないかということも言われておりますので、こういうことを議論することも大切だと思います。例えば委員会のときに話したりだとか、そういうことをして頂ければと思っております。話変わりまして、2月5日に行われました厄入り厄晴れに去年卒業されたメンバーがいらっしゃって、懐かしいなと思っておりました。その日がJCメンバーと会うのが久々であり、私も誰とも会ってない時期があったので不安でしたが、直接会って話が出来て、心の中ですっきりしたと思っております。それと2月14日に例会が行われました。常任理事会で園田副理事

長と畠中室長には言いましたが、完全 Web での例会ということで、当初は不安でしたが、講師の熱い講演のおかげもありまして、グループディスカッションも各グループ熱い議論されていたと本当に感じました。この厄入り厄晴れ、そして例会において、会員拡大・研修委員会の田中委員長をはじめとするメンバーの皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。2月はいろいろ充て職もありましたが、24日に正副で佐賀市長を表敬訪問させて頂きました。その際、今年の事業の説明と全国大会招致に向けての説明を市長にしてきました。市長もとても興味を持って頂いて、今後何かあれば気軽に相談してくれと言われたので、相談に行こうかなと思っております。それと本日からまちづくり委員会の事業である神野小学校の下校の見守り運動が始まりました。本日15名のメンバーと一緒に見守り活動を行ってきました。最初どうなるかなと思ったんですが、逆に子供達から元気を貰ったなと思っております。去年、神野小学校では交差点で事故が起こりましたので、事故が無いようにしっかりと青年会議所が一丸となって見守り運動をこれからも続けていって、また続けるだけじゃなく、これをきっかけに各地域にこの運動が広がればいいなと思いますので、蒲原委員長、今後もよろしくお願ひ致します。先ほどブロックの公式訪問の時にも言いましたが、3月24日にブロック主催のアカデミー開校式がございます。こちら佐賀青年会議所から3年未満が30名ほど上がっております。ブロックの方も一生懸命頑張られておられますし、その開校式でも3年未満の方々の交流もあります。今後のビジネス面にも繋がるかもしれませんので、各委員長また理事メンバーの方々にはお願いばかりして申し訳ないのですが、30名全員が行けるように周知をお願いしたいと思います。この後も報告案件で上がってくると思いますので、田中委員長よろしくお願ひ致します。最後、オブザーブで鶴田君がいるので言いますが、4月の16、17日、鹿児島の霧島の方で九州のサッカー大会がございます。今週の日曜日、夕方から練習があるということで、私も行こうと思っております。私も、小学校の時にJリーグが始まった年だったので、その時に入ったぐらいですけれども、いい運動になると思いますし、コロナ禍でなかなかメンバー同士会えないでの、会うきっかけにもなると思いますので、興味のある方は是非参加のほうよろしくお願ひします。それでは、今日は審議事項2件ありますので、一日よろしくお願ひします。

## 8. 直前理事長挨拶

直前理事長 古川 健太郎 君

(遅刻のため割愛)

## 9. 出席者の確認

総務・広報委員会 委員長 古賀 修平 君

理事長	島内 陽輔 君出席
直前理事長	古川 健太郎君 遅刻
特別顧問	江崎 正徳 君 出席
副理事長	園田耕太郎 君 出席
副理事長	山口 寛彰 君 出席
副理事長	西村 誠剛 君 出席
副理事長	岩永 清邦 君 出席
専務理事	渡邊 雅夫 君 出席
監事	光吉 勝助 君 欠席
監事	井内 政徳 君 出席

顧問	兵働 将崇 君 欠席
顧問	吉村 篤 君 出席
常務理事	松並 陽一 君 出席
室長	畠中 隆嘉 君 出席
室長	溝口 貴将 君 出席
室長	久保 隆佳 君 出席
室長	船津 和弥 君 出席
室長	森 公照 君 出席
財政局長	片岡清治郎 君 出席
事務局長	菱岡 英貴 君 欠席
出向理事	古賀 久達 君 出席
委員長	田中 徳晃 君 出席
委員長	蒲原 伸矢 君 出席
委員長	古賀 智博 君 出席
委員長	飯笛 壽久 君 欠席
委員長	古賀 修平 君 出席

#### 《オブザーバー紹介》

会員拡大・研修委員会	副委員長 鶴田 翔 君
ビジネス・防災対策委員会	運営幹事 千々岩粂博 君
まちづくり委員会	副委員長 鶴田 京平 君
ビジネス・防災対策委員会	委員 松尾 陽介 君

#### 10. 議長選出

理事長 島内 陽輔 君

#### 11. 当日議題の採択

理事長 島内 陽輔 君

### 【審議事項】

#### ■ 第1号議案 2022年度 仮会員の正会員及び配属先承認の件

総務・広報委員会

渡邊専務理事より説明

古賀委員長より説明

仮会員6名のうち、5名について傍聴、研修が終了した。

出席者の再確認

直前理事長　古川健太郎　君

【溝口室長】

1点質問です。推薦者の要件として、入会3年以上というのがあると思います。古賀委員長と山田慎也君は3年未満になると思いますがいかがでしょうか。

【古賀委員長】

私の入会年度は2020年ということで、満期間ではありませんが、3年目というところです。  
会員名簿の55ページ、資格規定第2章入会第2条推薦及びその資格にございますが、こちらに要件が3つございまして、①2年以上在籍していること、②所定の会費をすべて完納していること、③推薦月から遡って1年間、例会、委員会に60%以上の参加をしていることとなっております。山田慎也君並びに私に関しまして、満2年というところは別としまして、2年以上の入会というところはクリアしているというところでございます。満2年という記載であれば改めて精査する必要があると思いますが、2年というところで問題ないと認識しております。

【溝口室長】

ありがとうございます。例会出席率60%以上という要件を充足していることは確認されているでしょうか。

【古賀委員長】

念のため再確認をさせていただきますので、少々お待ちいただいてよろしいでしょうか。

渡邊専務より、順番を入れ替え、先に第2号議案を審議することを提案

■ 第2号議案　2022年度 4月例会開催計画(案)承認の件

まちづくり委員会

山口副理事長より説明

蒲原委員長より説明

前回からの改善点

- ・講師講演資料を参考資料として添付
- ・タイムスケジュールの誤りを適正な時間に訂正
- ・事業内容の実施による工夫と効果に内容を追記

蒲原委員長から補足説明

案内文と式次第について、パソコンの問題で文字がうまく表示されていないが、現在のところ原因が不明であり了承願いたい。

【島内理事長】

案内文だけですか。

**【蒲原委員長】**

案内文と式次第です。

**【江崎特別顧問】**

ディスカッションすると記載してありますが、その内容はどういったものを考えていますか。質問です。

**【蒲原委員長】**

講師資料にも記載していますが、塚原さんはまちづくりで空き家問題等に携わられているので、問題の見つけ方や解決方法などを講演いただき、その内容で島内理事長と私が疑問に思ったことを質問して答えてもらおうと考えています。

**【島内理事長】**

江崎特別顧問の質問に100%答えていないように思います。2人の講師を交えてどういうディスカッションをするのかということを江崎特別顧問は聞かれていますが、その点に関してはいかかでしょうか。

**【蒲原委員長】**

私は野見山さんと塚原さんにお会いして、疑問に思っていることを質問した時にとてもいい意見を頂いたので、それを青年会議所のメンバーに共有したいと考えています…

**【江崎特別顧問】**

そのいいなと思ったことは何なのか、そしてどういったことを伝えたいのかということを議案に反映させないと全く分からぬし、このままの内容でいくと、例会で講師とのやりとりがグダつく可能性が考えられます。講師にどういう話をしてもらって、どういう質問をするかということを、誰にどういう形をもつていつまでに報告するのかというところを今教えてください。

**【蒲原委員長】**

私は、まちづくり事業というのが初めてということもあり、分からぬことだらけで何かをするのが不安なので、それなりに活動されている方達と一緒に…

**【江崎特別顧問】**

今聞いているのは、ディスカッションと書いてあるだけでその内容が全く分からぬので、その部分をいつまでにまとめて誰にどういう形で報告するのかという質問です。そのうえで、報告を受けた人がOKだという内容であればそのまま進めてもいいのではないかという条件付きでの質問をさせて頂いています。いつまでにディスカッションの内容を明確にして、誰に報告しますというそこだけを教えてください。

**【溝口室長】**

今回、パネルディスカッションではありますが、何かテーマを設けて行うのではなく、講演いただく中で疑問に思ったことについて、理事長と蒲原委員長から質問していただく形をとっております。そして、その効果として、今後

まちづくりの事業や、メンバーひとりひとりの社業の地域貢献に繋げていけたらと思っております。ですので、今回テーマの選定というのは行っておりません。

**【江崎特別顧問】**

先程、蒲原委員長から、講師の方たちと話をして興味を持ったとか楽しかったとか話がありましたが、そういうのを伝えたいのであれば、何を投げかけて何を引っ張り出したいのかというは議案で明確にすべきです。このままの準備で例会に臨むのではなく、審議通ったからといって気を抜かずに、本番まで室長は委員長を指導してギリギリまで詰めていくようお願いします。

**【溝口室長】**

今回、どんなことを学んでもらいたいとか、何を感じてもらいたいかという部分に関しましては、議案の備忘録に記載させていただいております。講師の講演内容については講師資料に中身を詰めて構築している次第でございます。

**【江崎特別顧問】**

それだけ資料が揃っているからこれ以上は対応せずに当日を迎える考えということで理解しました。

**【吉村顧問】**

パネルディスカッションと言われていますが、やろうとしているのは対談形式なのかなと思いますので、対談形式と記載したほうがいいと思いますし、パネルディスカッションであればテーマを設けて、それに沿ってするのが普通なのかなと思いますので、どちらかはっきりして頂きたいと思います。

あと、9. 事業内容の講師講演資料で、野見山様のリンクが違いますので修正をお願いします。

**【蒲原委員長】**

こちらの方では添付資料は合っていると思います。

**【吉村顧問】**

今更新かけたら変更されました。確認ですが、直前に差し替えしてないでしょうか。

**【蒲原委員長】**

その部分については差し替えしておりません。

**【吉村顧問】**

わかりました。更新したら問題無かったので大丈夫だと思います。

賛成多数で可決承認

**【江崎特別顧問】(反対理由)**

この内容で例会したら何のために参加するのかということが議案から読み取れない、かつ、この内容のまま変更することなく進めていくということだったので反対致しました。

**【蒲原委員長】**

江崎特別顧問からのご指摘もありましたように、例会当日まで緊張感をもって方策していきますので、よろしくお願い致します。

**第1号議案の審議再開**

**■ 第1号議案 2022年度 仮会員の正会員及び配属先承認の件**

渡邊専務理事より説明

古賀委員長から説明

出欠簿で確認を行い、古賀委員長と山田慎也君について推薦月から遡って1年間の例総会並びに委員会について60%以上の参加が確認ができた。2人に関しては役員ではないため、出席率というところで推薦者の要件を充足していることを説明。

全会一致により可決承認

議長を渡邊専務理事に交代

**【協議事項】**

**■ 第1号議案 2022年度 5月例会開催計画ならびに予算(案)について**

ビジネス・防災対策委員会

船津室長より説明

**【渡邊専務理事】**

冒頭、理事長の挨拶にもありましたとおり、先日、正副と総務・広報委員会古賀委員長で市長にご挨拶伺い、秘書の方ともお話させて頂きましたが、その日程が厳しいということをおっしゃられていまので、佐賀市長の参加については変更の方で進めて頂いたほうがいいかと思います。

**【船津室長】**

ありがとうございます。

**【吉村顧問】**

昨年、協定締結した団体と意識醸成を図るということですが、昨年、船津室長がされた締結式でのフォーラムとの違いが明確に見出せないのかなと感じます。佐賀市長もスケジュールが厳しいというところで、この例会の特徴となるところを教えて頂きたいと思います。

【船津室長】

インパルスには災害に対しての委員会が無く、協定締結しても、災害に対してどう動いていくか考えたり、知識を身に着ける場が無いというのが各部長達が懸念されていることなので、JCもそうですが、多くのメンバーに落とし込んで、災害支援、防災に対する知識をつけてもらい、意識の醸成を図るという大きな目的になります。

【渡邊専務理事】

答弁では簡潔に説明をしてもらいたいというのと、今言われたような伝えたいことがあるのであれば議案上にそれが分かる資料を添付して頂ければと思いますのでよろしくお願いします。

【吉村顧問】

多くの人に来てもらいたいということは理解しました。どうしたらいいかというのは担当のメンバーでも分からぬところがあるかと思いますので、市長が来られないということで時間があるようでしたら、実際の災害時にどういった動きをするのかというロールプレイングなどもあればメンバーにも分かりやすいと思いますので検討頂ければと思います。あと、プレスリリースの日付が4月吉日になっていますが、この議案の審議通過が5月6日予定というところで、こちらは部分審議を取ることでしようか。

【船津室長】

すみません。そちらは間違いでるので、次回修正しておきます。

【渡邊専務理事】

順番が前後しましたが、予算がかかっておりますので片岡財政局長コメントをお願いします。

【片岡財政局長】

様式5見積企業一覧表で、西日本企画サービスの有効期限が90日となってますが、12月31日まではできなかつのでしょうか。

【船津室長】

確認取りましたが、12月31日までは出来なかったと報告を受けています。

【片岡財政局長】

それでしたら、有効期間が発行日より90日となっていますので、5月11日までとなり、様式5に記載の8月13日と整合しませんが、どちらが正しいのでしょうか。

**【船津室長】**

そちら確認を取りまして、次回変更があるようでしたら有効期限も変更させて頂きます。

**【山口副理事長】**

まず、昨年締結して、それをメンバーに落とし込みたいというところもわかりますが、実際に災害が起きたときにどう動くのかという連絡網だとか、協定した団体とどのように動いていくのかというのが全く見えない。ただ締結ということでなく、その辺が肝心なことではないかなと思います。あと、アンケートですが、公開例会ですので、災害支援についての1点だけでなく、3つ4つアンケートにして頂きたいと思います。

**【船津室長】**

アンケートは、もう一度検討しまして、必要であれば作り直すようにします。連絡網については、昨年からインパルスと連絡を取っている LINE を飯 笹 委員長にも共有していますので、そちらで情報交換を行い、災害が起こった際もそちらを活用していくことになるかと思います。物資の面でも、その L I N E を活用して行っていくことになるかと思います。

**【畠中室長】**

常任理事会で出た意見、『アンケートを一覧で見られるようにしてください。』に対して、『その様に致しました。』と対応がありますが、一覧になっていないので、対応されているのであれば新しいものの添付をお願いします。

**【船津室長】**

わかりました。もう1度作り直し、しっかりとリンクさせておきます。

**【渡邊専務理事】**

参加頂いた対外の方がどういうふうに感じたか知りたいので、対外向けのアンケートの作成もお願いします。佐賀市長の参加は難しいということなので、肝となる対談の部分について形を作って頂いて実りあるものにして頂ければと思います。それと、この議案が例会開催月の審議となりますので、広くアンケートする方法も次回明記いただければと思いますのでよろしくお願いします。

**【西村副理事長】**

船津室長だけでなく皆様にお願いです。今日、突発的に飯 笹 委員長が体調不良で欠席になられたと思 いますし、コロナ禍で難しいところもあるかとは思いますが、通常、委員長が欠席の場合は、筆頭副委員長、副委員長、運営幹事が代わりに説明する形になりますので、そのようにしていただければと思 います。

**【船津室長】**

すみません、そういうことを全く知らず。ありがとうございます。次回以降そのように致します。

**【渡邊専務理事】**

すみません、私もアナウンスが出来ておりませんでした。筆頭委員長等が出席された場合は議案の説明はできますが、答弁はできませんので、そちらの対応は副理事長、室長になりますので、よろしくお願いします。

**【吉村顧問】**

9. 事業内容に『佐賀市北・佐賀市南・神埼市のインパルスの例会に参加し』とありますが、これは各団体の例会にキャラバンとして参加する形になるのでしょうか。

**【船津室長】**

はい、そのようになります。

**【吉村顧問】**

そうであれば、実施までのスケジュール等に記載を頂ければ分かりやすいと思いますので、対応をお願い致します。

**【船津室長】**

了解しました。

**【江崎特別顧問】**

先程もそうでしたが、対談の内容をコーディネーターや理事長に丸投げの状態になっているのではないか。どのように進行するのかがシナリオにも議案上にも書かれていませんが、そのへんをこれからどのように準備していく予定ですか。

**【船津室長】**

コーディネーターの部分は SPF の方にお願いするようになっていますし、飯笹委員長もコーディネーターの役としと入るようになっています。対談内容も決まっていない部分がありますので、これからの打合せの中で決めて、随時議案に反映していきます。

**【古川直前理事長】**

市長が来られないということで、内容がガラリと変わることになると思いますが、昨年やったのと同じようになってしまふので、昨年やったことを踏まえて、次の段階といいますか、検証するような内容にして頂くのもいいかと思います。あとは皆さん言われているようにアンケート等を精査してもらえればと思います。

**【島内理事長】**

市長が来られないとのことですので、副市長に頼んでもいいのかなと思います。常任でも言わせて頂きましたが、佐賀青年会議所が佐賀市、小城市、神埼市なので、神埼市長ですとか、江里口市長とかも呼ぶべきではないか

なと思います。当初の予定では、市民も来て大規模なものになるということでしたが、市長が来られないと例年通りになってしまふのかなと思います。私としてはそれよりも首長を呼んで頂きたいと思いますので、検討をお願いします。佐賀市長も災害対策したいと言われてましたが、この前の話では税収的に厳しいということも言われていました。来年の佐賀市の予算が微増で、29億位上がってますが、災害関連の予算が3～4億しかないので、この点についても佐賀市の方とディスカッションしたいと思いますので、できるのであれば副市長等を呼んで頂けるようにお願い致します。

## ■ 第2号議案 2022年度 6月例会開催計画(案)について

会員拡大・研修委員会

畠中委員長から説明

田中委員長から説明

### 【総務・広報 古賀委員長】

2点質問です。青年会議所への理解というところで、一般的な青年会議所を知るのか、佐賀青年会議所を知るのか、どちらに主眼を置かれていますでしょうか。また、初級と上級の線引きが入会3年となっていますが、この線引きの理由・動機を教えてください。

### 【田中委員長】

青年会議所についてもそうですが、佐賀青年会議所のメンバーの資質向上のための例会とします。新型コロナウィルスの影響で従前の十分な活動ができていないと思いますので、そこを線引きの基準とさせて頂きました。

### 【古賀委員長】

承知しました。ありがとうございます。

### 【渡邊専務理事】

例会の題名に島内理事長の名前を入れて頂いていますので、もう少し理事長が表に出るような内容にして頂くよう検討の余地はありますでしょうか。

### 【田中委員長】

まずサブタイトルの内容ですが、ユニークなjタイトルだと親しみやすいだろうということで、このようにしました。表彰のときに理事長に賞状と賞品を渡して頂くようにしていまして、上位に入られた方には、半年間理事メンバーと接する機会が持てるような賞品を準備していますので楽しみにして頂ければと思います。

### 【渡邊専務理事】

今の景品についてですが、予算書は0となっていますが、予算がかからないものということでおろしいでしょうか。

**【田中委員長】**

予算はかかるない予定です。よろしくお願ひします。

**【渡邊専務理事】**

過去にも、8時だよ！全員集合というようなキャッチャーなネーミングの例会もありましたが、ネーミングに加えて、内容の充実のために、もっと理事長が前に出る内容を考えて頂ければ楽しくなるのかなと思いますので一考頂ければと思います。

**【田中委員長】**

もう少し、理事長にご協力頂ける内容を検討したいと思います。

**【江崎顧問】**

そもそもですが、試験問題とクイズ問題でメンバーの資質が向上どのようにできるかというところ、JC のルールを理解することが資質向上になるのかというところが疑問に思います。何故クイズを選んだのですか。

**【田中委員長】**

○×大会は、メンバーが会館に来なくなるような、メンバーに会いたくなるような内容を準備しております。筆記試験も、懐かしい思いになって頂くために準備しており、そこで必要な用語など勉強して頂いて、事前問題も理事メンバーに答えて頂いて、入会経験の長いメンバーの思いや気付きをメンバーに伝えることで資質向上に繋がらないかなどと考え計画しております。

**【江崎特別顧問】**

敷居を下げて参加しやすくしながら資質向上に繋げるというのであれば、思いきって振り切ってもいいのかなと思います。例会は、会館でスーツを着てやらないといけないものではないので、時期的なものを考えて屋外でやるとかでもいいですし、もっと自由に考えていいと思います。クイズという限定した手法に囚われずに、面白そうな企画を考えてみてはいかがだと思いますので、意見させて頂きます。

**【田中委員長】**

別の角度からも思い切ったことを考えたいと思います。ありがとうございます。

**【古川直前理事長】**

この例会はみんなの知識の向上ということで開催されるのでしょうか。それもいいのですが、併せて意識の醸成という面でも内容を考えて頂ければと思います。

**【田中委員長】**

知識の向上だけでなく、意識の醸成による資質の向上に繋がるように精査致します。

**【島内理事長】**

みんながおっしゃりとおり意見に対応して頂くのと、専務が言ったように、面白い事業名がついているので、もっと田中委員長の色を出していいのかなと思います。時期が6月ということで、コロナの感染状況がどうなっているか分かりませんが、もっと振り切ったものをメンバーと協議して、プラスアルファを考えて頂ければと思います。メンバーがこの例会に来たいと思えるよう、田中委員長の色を出して考えて頂きたいと思いますのでよろしくお願ひします。

**【田中委員長】**

振り切ったもの考えて、メンバーの皆さんのが参加したくなるような例会を準備したいと思います。

総務・広報委員会古賀委員長より、30分間の延長動議提出。議長を島内理事長に交代。

延長動議についてセコンドの確認

セコンド:江崎特別顧問、園田副理事長、畠中委員長

**■ 延長動議の採択について**

**【島内理事長】**

古賀委員長、30分間の根拠を教えてください。

**【古賀委員長】**

今ほど協議事項2議案について、概ね20分前後の協議時間となっておりますので、第3号議案の協議に20分間、その後、報告事項を10分間程度というところで、計30分とさせて頂きました。

全会一致で可決承認。

**■ 30分間の延長について**

全会一致で可決承認。

議長を渡邊専務理事に交代。

**■ 第3号議案 2022年度 6月メイン事業計画並びに予算(案)について**

ビジネス・防災対策委員会

船津室長から説明

**【片岡財政局長】(予算についてコメント)**

様式1で、メイン事業のところに予算の記載が無いので、例会のところには先程の3万円、メイン事業のところに68,000円の記入をお願いします。それと、様式3は変更になっていますので問題ありません。様式4のところで、様式5には飛んでいますがナンバーのリンクがないので修正をお願いします。体育館使用と運動場使用の計算の仕方が分からないので、分かりやすく表示されるといいのかなと個人的に思います。

**【船津室長】**

再度確認したいと思います。現在のところ、予算面では、Civic Force しか出ておらず、なるべく早く予算を出してもらうよう依頼していますので、揃い次第、資料を添付させて頂きます。

**【渡邊副理事長】**

いろんなベースが開かれるとなっておりますが、他力感が強いかなと思います。青年会議所として防災について考えられることもあると思いますので、そちらについても検討頂きたいと思います。参加したメンバーも共感しながらいろんなこともできると思いますので、そういったところも検討頂ければと思います。もう1点、対内の目的に対する検証の仕方はどういった形でされるのでしょうか。対外の方にはアンケートとなっておりますが、対内の目的に対する検証の方法も検討頂きたいと思います。

**【船津室長】**

ありがとうございます。飯窓委員長に伝えておきます。

**【吉村顧問】**

会場レイアウトも紙図面で分かれているので、どのような感じでするのか想像がつきません。その辺を、航空図を使うなどブラッシュアップして頂きたいと思います。また、オープニングで佐賀八賢人おもてなし隊の防災劇鑑賞とありますが、この方たちは防災劇をされるのですか。

**【船津室長】**

問い合わせましたが、防災に関する劇はありますという返答を頂いています。ベースとなる部分はあると思いますが、今回の防災フェスの内容に沿って頂けるようお伝えしていくと考えています。

**【吉村顧問】**

ベースがいろいろありますが、予算的には Civic Force さんの分しか上がってませんが、他の団体さんには予算かかるないのでしょうか。

**【船津室長】**

各ベース予算はかかると思います。現在予算のほう出してもらうよう伝えていますが、なかなか上がってきていないうといふ現状があります。急ぐようにしたいと思います。

**【吉村顧問】**

わかりました。進めて頂きたいと思います。あと、参加者が100組と書かれていますが、その募集についてどのようにするかは記載がありませんが、どのように考えられていますでしょうか。

**【船津室長】**

100組という人数は、会場の具合もありますし、変動するかもしれません。募集の仕方については、前回の常任理事会の時に、教育委員会の名前が無いと学校の方にもチラシを置けないと言われましたので、まず教育委員

会に問い合わせをしている状況です。学校の方にチラシを配布させていただければと考えています。あとはプレスリリースもしますし、テレビにも出演して広く周知していかなければと考えています。

**【吉村顧問】**

チラシを配布するのであれば、審議対象資料となりますので添付して頂くようお願いします。あと、防災クイズの内容や、賞品についても早めに上げて頂くようお願いします。

**【船津室長】**

そちらの方も同時進行で進めていこうと思います。次回までには準備できるようにしたいと思います。

**【園田副理事長】**

メンバーも家族で参加してくださいということで聞いていますが、結婚していないメンバーもいまして、方々はどうする予定でしょうか。

**【船津室長】**

基本的な考えとしては、対外の方で100組来ていただきたいと思っていますが、人数が集まらないこともあるかと思いますので、その時は皆さんにも早めに報告したいと思います。結婚されていないメンバーの方はブースでお手伝いをしていただければと思います。ブースも30分毎にお客さんも運営側も交代していく形になりますので、防災対策の知識もついていくのではないかと考えています。

**【園田副理事長】**

よければ各委員会の担当の振り分けをして頂いてもいいのかなと思います。連携するパートナーに各商工会青年部がありますが、1つのブースだけ担当されるということでしょうか。

**【船津室長】**

基本的にJCとインパルスも1つのブースを作りたいと考えますが、インパルスの方たちも他のブースに振り分けをするような形で運営側に回って頂くということで打ち合わせをしております。

**【園田副理事長】**

これからいろいろ揉まれていくと思いますので、よろしくお願いします。

**【国際・交流委員会古賀委員長】**

参加者が原則親子での参加となっていますが、国際・交流委員会としては、ぜひ留学生の方たちにも参加して頂きたいと考えていますが。特別にといいますか、そのような方達の参加は募集しても大丈夫でしょうか。よろしくお願いします。

**【船津室長】**

飯笛委員長の考えもあるので、ここでは確答が出来ませんが、それは運営側に回ってもらうということでしょうか。

**【古賀委員長】**

できれば、実際に参加してもらって防災についての知識を高めて頂きたいと考えています。

**【船津室長】**

SPFの中にも外国人向けての団体もいらっしゃいますので、この意見を委員長に伝えて話をしてみます。

**【渡邊専務理事】**

次回までに検討して頂きたいことが数点あります。タイムスケジュールで、理事長挨拶の後に受付開始、開会の辞になってまして、どこで開会の辞をするのかなど会場レイアウトで分からぬ部分がありますので、次回までに生の会場レイアウトを出して頂ければと思います。それと間延びするのが怖いので、本当に1つのブースに30分かかるのかということも検証頂きたいと思います。時間が余るようであれば参加者を増やすこともできると思うので、次回の協議までにはご検討頂きたいと思います。

**【江崎特別顧問】**

目的は防災意識を向上させるといったところになるかと思いますが、内容がブースに依存している部分が強いです。この路線で行くのであれば、例えば、ブースに子ども達に作業してもらうような内容を設けないとただのイベントになってしまふと思うので、この事業がどれだけ社会にインパクトを与えるか分からぬです。その観点を事業に組み込む必要があると思います。

**【船津室長】**

ありがとうございます。もう一度練り直したいと思います。

**【古川直前理事長】**

みなさんが言われたように、細かいところの精査ですね。ブースを交代するごとに説明の必要があるのかどうか、まとめて説明ができれば時間配分も変わってくるでしょうし、そういったところの細かい精査をお願いしたいと思います。

**【船津室長】**

承知しました。ありがとうございます。

**【島内理事長】**

常任の時と比べたら内容が盛り込まれたと思いますが、各ファンクションどういったことをするのかというのがイメージしにくいと思います。資料が足りないとも思いますし、本当に予算が足りるのかなという疑問もあります。その辺の精査をするとなると、メンバー全員の参加を考えていると思うのですが、全員参加したら遊ぶ人が出てくると思ってしまいますので、委員会ごとのスケジュールを作って運営に参加しますというのが資料として分かるといいと思いますので、全体的に見直して資料を精査する必要があると思います。江崎特別顧問が言われたように、た

だのイベントになってしまわないように、各ファンクションでどういった防災の効果が得られるかということをしっかりと記載して欲しい思いますのでよろしくお願ひします。

### 【船津室長】

ありがとうございます。次回までにもう少し作り込んできます。

### 【討議事項】

なし

### 【報告事項】

- 第1号議案 2022年度 3月例会開催について  
国際・交流委員会
- 第2号議案 2022年度 佐賀青年会議所シニア・クラブ総会及び懇親会(案)について  
国際・交流委員会
- 第3号議案 2022年度 国際体験ツアー ASPAC 大阪堺高石大会 (案)について  
国際・交流委員会
- 第4号議案 2022年度 春季河川清掃について  
まちづくり委員会
- 第5号議案 通年事業について  
まちづくり委員会
- 第6号議案 佐賀ブロックアカデミー開校式2022開催について  
会員拡大・研修委員会
- 第7号議案 2022年度 仮会員研修について  
会員拡大・研修委員会
- 第8号議案 2022年度 新入会員募集について  
会員拡大・研修委員会
- 第9号議案 2022年度 献血活動について  
総務・広報委員会
- 第10号議案 SNS アカウント等運用状況について  
総務・広報委員会
- 第11号議案 理事会オブザーブ参加推進およびLOMセクレタリー担当の輪番について  
総務・広報委員会
- 第12号議案 アジェンダシステムの検討について  
総務・広報委員会

16. 次回開催日程について

総務・広報委員会

- ・第4回 常任理事会 3月18日(金) 19:30~
- ・第4回 理事会 4月01日(金) 19:30~

17. 審議事項決定の確認

総務・広報委員会

18. 出席者の再確認

総務・広報委員会

19. 監事講評

監事 井内 政徳 君

皆様お疲れ様でした。本日 web 開催ということで対面ではなかったんですが、同室内で何人が入っていらっしゃいますよね。運営方とかはコンセンサスを図るために同じ部屋から入ってたりしますので、次回からはイヤホンをつけてから入室して頂きたいと思います。途中、ハウリングが結構ひどくて、うるさかつたりしましたので。今後も web 開催することもあると思いますので、そちらの準備して頂いてからの参加を宜しくお願ひしたいと思います。本日、2本の審議がございました。各種資料について不備がありましたね。今までこうしてましたとか、去年の議案にこう書いてありましたとかではなく、定款というしっかりしたルールがうちのLOMありますので、しっかり定款というルールに則って運営をして頂きたいと思います。もう一点、審議の意味をもう少し考えて頂きたいと今日思いました。審議を通った後の答弁で、当日前までしっかり構築して行きますという答弁がありましたが、JCの会議のルールとして、議案に記載していることはやらないとダメだし、議案に書いていないことはやってはダメなんですね、なので、審議を頂くということをもう少し考えて頂きたいと思います。うちのLOMは2協1審でいってますが、2回協議出してもらったら審議通るというわけではないので、もう少し向き合って頂きたいと思います。また、本日3本も協議ございました。今の審議の話にも通じてくる話ですが、協議の時点からもう少し議案と向き合って頂きたいというのも改めて考えさせられました。本日ですね、答弁の中で、資料が出来てませんので作成後反映しますであったり、打ち合わせが出来てからバージョンアップします、とか言う答弁がありましたので、もうちょっと早い段階から動いて議案作成して頂きたいと思います。1回目だからこの程度でいいんじゃないかなという話ではなくて、1回目の上程の時から1発で通せるぐらいの気概を持って議案作成して頂きたいと思います。そもそも論を言うと、予定者段階からこの日程の時に上程しないといけないというのは分かってたわけなんですよ。それにもかかわらず打ち合わせ出来ていないとか、準備出来てないとか、なんでやねんって話なんですよ。上程しないといけないのもそもそも分かっているので、その日程から逆算して余裕を持って作成して頂きたいと思います。そうすることでもっといい事業構築ができると思います。2度言いますが、もう1度自分たちの委員会の議案と活動運動に真摯に向き合って頂きたいと思います。結びになりますが、現在、蔓延防止中で活動ができにくい状況となっていますが、来週には明けるとのことです、今後、また対面でみなさんと会議できることを祈念申し上げまして、監事の講評とさせて頂きます。本日お疲れ様でした。

20. 閉会の辞

副理事長 岩永 清邦 君

議事錄署名人

前原伸矢  
田中徳晃

